

橋梁研新聞

令和4年

7月発行

同窓会号



教授	山口 隆司
助教	林 巖
特任教授	古田 均
客員教授	三ツ木 幸子
秘書	北見 真智子
D3	申 啓航
D2	佐倉 亮
D1	山下 良
M2	浅野 貴弘
M2	田中 伸尚
M2	石田 健人
M1	平岡 葵
M1	堀井 いずみ
M1	李 若曦
M1	池田 未来
M1	小西 美里
M1	関本 将貴
B4	赤星 花奈
B4	木山 大聖
B4	安田 航輔
石黒 陽菜	高木 夢菜
山田 蓮	
尾葉石 海渡	小村 政孝
中岡 健太	銭 森
橋本 達也	福辻 菜絵
頼 健鵬	
吉岡 夏樹	
陳 瑜	
教員	4名
秘書	1名
博士課程	7名
修士課程	15名
4回生	6名
計	33名

総合知で、超えていく大学。 大阪公立大学

大阪公立大学 始動

2022年4月より、大阪府立大学と大阪府立大学が統合し、大阪公立大学が開学しました。立大学となる見込みです。また、2025年度を目標に森之宮キャンパスが新たに開設予定です。工学部都市学科のキャンパスは、2026年に中百舌鳥キャンパスに移転する予定です。

さらに詳しい情報は、下のQRコードからご覧ください。

詳細は↓



研究室活動紹介

大阪公立大学橋梁工学研究室では、一年を通してゼミA、ゼミB、ゼミC、個別ゼミ、年末ゼミ等を行っている。また、他大や関連企業と合同で、FSM EII（座屈勉強会）、橋の情報調査会、FEM解析意見交換会等様々な勉強会に参加します。

◆ゼミナールA（前期）毎週1回

4回生、M2が中心となって、弾塑性力学の基礎を学ぶゼミナール。

◆ゼミナールB（通年）毎月1回

学生全員で文献講読を行うゼミナール。研究遂行にあたっての周辺知識を獲得します。M2・M1：ASCE論文集、土木学会論文集、鋼構造論文集など / 4回生：橋梁と基礎（前期）、自身の研究に関連した論文（後期）



ゼミB

◆ゼミナールC（後期を中心に月1回）

卒業研究、修士研究の節目に、研究の進捗状況を報告するゼミナール。

◆Lunch Meeting（通年）

活動報告書を提出し、研究の進捗状況、達成度、現状の問題点、質問などについて報告するとともに連絡事項を確認するゼミナール。また、Tipsの紹介（解析、実験、リテラシー）を行います。

◆CAD勉強会（今年から）

CADの技術を身につけることため、CADの使用手法が記載された本を学生で割り振って、各自実施して、難点やポイント等をスライドにまとめ、発表する勉強会。



合成桁勉強会

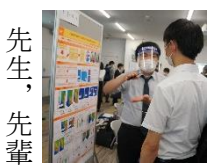
薄層モルタルを考慮したPCa床版押し抜きせん断試験

西日本高速道路株式会社との共同研究により、合計約50体の押し抜き試験を大学の実験室にて実施しました。本研究では、プレキャストの床版において、高さ調整のために主桁-床版間に用いられる薄層モルタルの厚さや強度、またはスタッドの強度や本数が主桁-床版間の合成効果に及ぼす影響について明らかにすることを目的としています。



2022年度土木学会関西支部年次学術講演会

令和4年度5月29日に、修士1年生6名が投稿した論文の発表が関西大学にて行われました。初めての対面発表に加え、今年はポスターセッションの部も加わり、先生、先輩方にも練習を見ていただき、当日はそれぞれ過去一番のプレゼンができました。



先生、先輩方にも練習を見ていただき、当日はそれぞれ過去一番のプレゼンができました。

ぶら土木

大学公認サークルとして活動している土木構造物見学サークル「ぶら土木」も今年で5年目となりました。今年度は「祝橋架替工事現場」にてパネルブリッジ建設現場を見学してきました。ぶら土木サークルでは、現場などの見学先を探しています。お進めの場所があります。したら是非、ご紹介下さい。お待ちしております。



祝橋架設工事

卒業修了式

令和4年3月24日に卒業修了式が行われ、学部4年生6人、修士2年生5人が卒業しました。



祝橋架設工事

就職先

川田工業株式会社、阪神高速先進技術研究所、阪神高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、三インフラシステム株式会社、ヒノデホールディングス株式会社、教員に 岩手大学（杉本先生）、熊本大学（森山先生）

